



桜を楽しむ見物客



桜のトンネルで春を感じて

羽咋市・千路町で桜が見ごろ

羽咋市千路町の古永建設敷地内の庭園で、シダレザクラが見ごろを迎えました。庭園はシダレザクラやキクザクラ、八重桜など10種類以上の約150本もの桜が咲き乱れる羽咋市の桜の名所の一つであり、市民にも一般開放されています。

木のチップが敷かれた散策路の「桜のトンネル」を堪能しようと、県外から訪れる人も多く、観光客でにぎわう場所です。

庭園はシダレザクラが目玉で、まるで桜のシャワーのように花が降り注ぎ、花の美しさと迫力を間近で感じることができます。

藤岡市の皆さんも、ぜひお花見の時期に足を運んでみてください。

東中学校

～地域とのつながりを大切にした取り組み～

東中学校には、歴史ある活動としてJRC・ユネスコ委員会があります。委員会では生徒会が中心となって全校生徒に呼びかけ、アルミ缶・ペットボトルキャップの回収を行っています。また、福祉施設への車いす寄贈を目標に、資源回収の強化期間「チャリティーWEEK」を実施しています。さらに、ユネスコスクール認定校としてSDGsにも着目し、授業やお昼の放送で資源回収やリサイクルについて取り上げ、資源回収から持続可能な社会づくりを意識できるように学習しています。PTAも地域の人からの依頼を受けて、段ボールやペットボトルの回収を年に数回実施しています。このように学校・家庭・地域など、毎年多くの人が関わっています。

これらの活動を通して、生徒が自分たちの生まれ



資源回収の様子

育った地域の大切さを再認識し、地域に深く根ざしていくことを願っています。今後も「地域と共にある学校づくり」に取り組んでいきます。

問い合わせ 学校教育課(☎508212)
東中学校(☎20761)

ひきこもりのきっかけは一人一人異なります。進学や就職でのつまづき、人間関係の

誰にでも起る

ひきこもりのきっかけは一人一人異なります。進学や就職でのつまづき、人間関係の

身近な地域課題

ひきこもりは決して特別な問題ではありません。内閣府の調査では、全国の推計で100万人を超える人が広い意味でのひきこもり状態にあるとされています。年代も若者に限らず、40～60代の中高年層にも広がっています。こうした、ひきこもりの長期化から生じるのが「8050問題」です。80代の親が50代の子の生活を支える状況を指し、家族だけでは抱えきれない深刻な問題となっています。今や地域全体で向き合おうべき身近な問題です。



ひきこもりと8050問題

福祉課(☎2384)

悩み、病気やこころの不調など、日常生活の延長にある出来事が重なり、外に出たり、人と交流することが難しくなることがあります。長期化すると社会との接点を取り戻すことに強い不安を感じて、本人も家族も孤立しやすくなります。ひきこもりは決して怠けや甘えではありません。適切な理解や周囲の関わり・支援があれば、状況を少しずつ変えていくことができます。

まずは相談を

問題が長期化する背景には、「どこに相談したらいいかわからない」「家族のことを他に話さず」といった思いもあります。しかし、ひきこもりや8050問題は、家族だけで解決しようとする大きな負担となってしまいま

す。問題をすぐに解決することは難しいかもしれませんが、まずは誰かと「つながる」ことが大切です。話をすることで気持ちが軽くなったり、今できることを一緒に考えることもできます。一人で抱え込まず、まずは相談から始めてみませんか。

市ではひきこもりがちな人の日中活動の場として「つどい」を、毎週水曜日に障害者支援センターきららにて実施しています。お菓子づくりや手芸、カードゲーム、季節の行事などのレクリエーションの参加を通じて、少しずつ社会との接点を取り戻していくことができます。

相談窓口 福祉課(☎2384)・藤岡保健福祉事務所(☎1420)・こころの健康センター(☎027・287・1121)

ごみを減らす・分ける・生かす

—安心して生活できる環境を次世代へ—



第2回 リチウムイオン電池は正しく排出してください

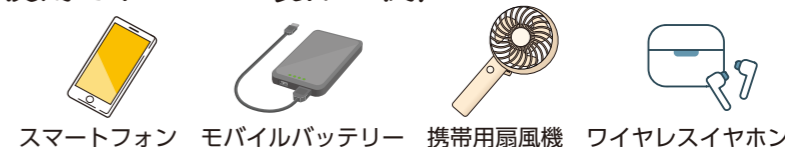
モバイルバッテリーやスマートフォンなどに使われているリチウムイオン電池は、使用時や廃棄時の火災が頻繁に発生しています。可燃ごみや不燃ごみとして排出すると、収集車や処理施設で発火する恐れがあります。国では、リチウムイオン電池は「賢く選ぶ」「丁寧に使う」「正しく捨てる、そして資源循環」が重要であるとしています。また、火災事故への対策強化として、2026年4月からはリチウムイオン電池を取り外せない一部の製品について、メーカーなどに自主回収・リサイクルの体制整備が求められることになりました。リチウムイオン電池は小型で見分けにくく、他のごみの中に紛れ込みやすいものです。ごみとして排出するときは次の回収ルートを利用してください。

- ▷メーカーや販売店に確認
- ▷家電量販店などに設置されているリサイクルボックスを活用
- ▷透明なビニール袋などに入れて、収集所の赤いカゴに「有害ごみ」として排出。雨天は不可。配線や端子はビニールテープなどで絶縁。ただし、変形・膨張したものは収集所には出さず、清掃センターへ直接持ち込み

「リチウムイオン電池が使用されているかもしれない」と思ったときのひと手間が、事故の防止につながります。安全なごみ処理のため協力をお願いします。

〈リチウムイオン電池が使用されている製品の例〉

充電することで繰り返し利用できる右記のようなもの



問い合わせ 清掃センター(☎238305)